

平成26年3月31日

各 位

会 社 名 株式会社アダストリアホールディングス 代表者 代表取締役社長 遠藤洋一 (コード番号2685 東証第一部) 問合せ先 経営戦略部長 新谷 亮 (TEL:03-6895-6000)

特別損失の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成26年3月31日開催の取締役会において、平成26年2月期第4四半期において特別 損失を計上することと致しましたのでその概要をお知らせするとともに、平成26年1月22日に公 表した平成26年2月期(平成25年3月1日~平成26年2月28日)通期業績予想の修正についてお 知らせ致します。

1. 特別損失の内容

(1) 関係会社株式評価損(個別決算)

当社は、優れたテキスタイルデザインや商品デザイン機能を持ちアジア各国に拠点を持つ㈱ NATURAL NINE(以下、N9。平成26年2月28日をもって㈱ポジックと統合し、現在は㈱N9&PG)を平成25年6月に統合し、アダストリアグループ内の生産機能を担うべく体制を整え、ポイント・トリニティアーツなどグループ内の小売事業会社との協業を深化させる取り組みを進めてまいりました。しかしながら、円安の進行や主たる生産地である中国の生産コストの上昇に加え、グループとしてSPA化を進める中でN9の先行投資負担が増加し、一方で小売各社との連携体制構築に時間を要したため、N9の収益が計画比で悪化いたしました。このような現状を踏まえまして、長期計画を見直した結果、同社株式の減損処理を行い、関係会社株式評価損5,389百万円を計上することとなりました。

また㈱バビロン(以下、バビロン)につきましても、当社グループにはなかった高価格帯を担うブランドとして平成24年11月に子会社化しましたが、商品政策のミスマッチによる売上および売上総利益の下振れを主因として当初の収益計画との乖離が発生しているため、減損処理を実施、関係会社株式評価損1,393百万円を計上することと致しました。なお、本年4月1日をもって出店や広告宣伝、人材などの経営資源の有効活用を目的としてトリニティアーツと統合し、さらなる成長を目指す姿勢に変化はありません。

(2) のれんの一時償却(連結決算)

個別決算において上記の減損処理を行うことに伴い、連結決算において両社に係るのれんの一時償却をそれぞれ5,462百万円、734百万円実施し、合計で特別損失6,196百万円を計上することとなりました。

2. 平成26年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年3月1日~平成26年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
	153, 500	5, 500	5, 500	1,000	43. 62
今回修正予想(B)	153, 200	5, 700	6,000	△4,800	△209. 40
増減額 (B-A)	△300	200	500	△5,800	
増減率(%)	△0.2	3.6	9. 1	_	
(ご参考) 前期実績	121, 670	9, 717	9, 951	5, 508	241. 45
(平成 25 年 2 月期)					

<修正の理由>

経常利益段階までは概ね1月22日に公表した予想数値通りとなる見込みですが、上述の通り特別損失6,196百万円を計上することから、当期純利益は前回予想を5,800百万円下回り、4,800百万円の損失となる見込みです。

3. 平成26年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年3月1日~平成26年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
	57, 500	4, 900	5, 100	3, 100	135. 23
今回修正予想(B)	57, 700	5, 200	5, 400	△3, 400	△148. 32
増減額 (B-A)	200	300	300	△6, 500	
増減率(%)	0.3	6. 1	5. 9		
(ご参考) 前期実績	115, 089	9, 252	9, 634	5, 439	238. 43
(平成25年2月期)					

<修正の理由>

個別業績予想につきましては、第2四半期累計期間までの株式会社ポイントの個別業績に第3四半期以降の持株会社アダストリアホールディングスの業績を加えたものであります。上述の通り特別損失6,783百万円を計上することから、当期純利益は前回予想を6,500百万円下回り、3,400百万円の損失となる見込みです。

なお、配当予想につきましては、1 月 22 日に公表した期末配当 25 円 (年間配当 75 円) から変更はありません。

(注)上記業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に 基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。